

中津市議会議員 大塚 正俊

まちづくり 通信

発行；大塚まさとし後援会 中津市新大塚町 384 Tel・Fax 0979-22-6972
 携帯 090-2508-7959 E-mail masatoshi@m-ohtsuka.com
 URL（ホームページ） <http://www.m-ohtsuka.com/>



“皆様のご期待にお応えできるよう頑張ります”

4月に執行された中津市議会議員選挙にあたり、皆様方の温かいご支援とお力添えにより、1,757票（第8位）という上位の成績で4期目の当選をさせて頂くことが出来ました。

しかし、前回選挙の2,014票から約250票も減らしたことは、私の4年間の議員活動に対する厳しい評価と受け止め、真摯に反省しております。

これを機に初心に立ち戻り、更に研鑽し皆様のご期待にお応えできるよう粉骨砕身、頑張っていく所存であります。

向こう4年間、皆様方の暮らし・いのち・みらいを守るため、全力投球して参りますので、今後とも、変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

中津市議会議員 大塚 正俊



■令和5年第2回（6月）定例市議会で決まったこと。【抜粋】

令和5年第2回定例市議会（6月議会）は、6月12日から7月5日の24日間開催されました。令和5年度一般会計補正予算等の予算議案1件、条例議案9件、その他議案3件、人事案件23件、報告案件17件、請願4件、意見書5件の計62件が上程され、請願第1号を一部採択、請願第2・3号を継続審査、請願第4号を不採択とし、その他の議案は原案どおり可決しました。

1. 令和5年度一般会計補正予算（第1・2号）；補正額23億4,407万円

（補正後予算額455億9,861万円）

《新規・拡充事業（抜粋）》

□学校給食運営事業；2,311万円

- ・食材費の物価高騰を受け、学校給食会計の運営にも更なる影響が生じているため、給食費の引き上げをしないよう、影響額を追加支援する。



□小学校等の給食費の無償化事業；7,232万円

- ・物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援として、3歳から15歳までの市内の小・中学校、支援学校、幼稚園に通学・通園する子どものうち、第2子以降の給食費を無償とする。

- ・期間；R5.9月～R6.3月 ・対象；幼稚園・小学校・中学校・支援学校、約2,400人

□保育所等の給食費の無償化事業；3,541万円

- ・物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援として、市内の保育所等に通園する子どものうち、第2子以降の児童の給食費を無償とする。

- ・保護者負担金相当額（1人あたり月額4,500円）を保育施設等に給付、公立保育園は給食費を徴収しない。

- ・期間；R5.9月～R6.3月

- ・対象；私立保育所、認定こども園、認可外施設、1,124人

□畜産経営体飼料高騰支援対策補助金事業；3,127万円

- ・原油価格上昇等により家畜飼料価格が高騰しており、畜産経営の安定と事業継続を図るため配合飼料費の一部を補助する。

- ・補助率；乳牛1/2、その他1/3 ・期間；R5.4～R6.3

- ・補助額；1頭（羽）あたり年間給餌量×飼養数×配合飼料価格×補助率



鎌城地区の豚舎

□水産物流通改善支援補助金事業；650万円

- ・原油価格高騰の影響を受けている水産業関連事業者の操業意欲向上を図るため漁業用燃油代の一部を補助する。

- ・補助率；1/3 ・期間；R5.7～R6.2



小祝漁港の漁船

□し尿収集運搬事業支援補助金事業；158万円

- ・燃料価格の高騰の影響を受けているし尿収集運搬事業者に対し、業務の安定的な運営を図るため、し尿収集運搬に係る燃料費の一部を助成する。

- ・期間；R5.4～R6.3

- ・補助額；燃料の県内市場価格（各月平均）と過去3年平均の差額（上限24円/L）×し尿収集運搬に要した燃料の給油量

□公共交通事業者燃油高騰対策支援事業補助金事業；200万円

- ・コロナ禍による影響に加え、燃料費高騰により厳しい経営状況にある地域公共交通事業者の事業継続を支援するため、乗合バス等の運行に必要な経費の一部を助成する。

- ・期間；R5.4～R5.9

- ・補助額；燃料の県内市場価格（各月平均）と過去3年平均の差額（上限1/4）



□プレミアム商品券発行事業；2億9,400万円

- ・物価が高騰するなか、生活者を支援するため、県と連携し、第7弾プレミアム商品券「福澤諭吉先生40年間ありがとう商品券」を発行する。

- ・発行総額；11億7,000万円

- ・販売額等；9億円（発行数9万冊、プレミアム率30%）

- ・使用期間；R5.10.1～12.31（予定）



写真はイメージです。

□社会福祉施設物価高騰対策緊急支援事業；4,555万円

- ・物価高騰の影響を受ける各社会福祉施設に対して、電力・ガス・食料品等物価高騰相当額を県と共同で支援する。
- ・対象；障害者施設、介護・高齢者施設、子育て・保育施設

□住民税非課税世帯給付金給付事業；3億7,296万円

- ・物価高騰等の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯に対して1世帯当り3万円を支給する。
- ・給付対象世帯：12,100世帯 ・給付時期；8月下旬～9月上旬

□脱炭素社会推進事業；8,403万円

- ・2050年脱炭素社会の実現を目指し、令和5年度から令和9年度までの5ヵ年間で重点対策加速化期間として、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し市民・事業者を対象に太陽光発電設備や蓄電池の設置、EV自動車の導入に対する補助を行う。
- ・太陽光発電設備（予算額；6,400万円）※大分県でも同様の補助制度があります。

【補助額】市民；1kW当り7万円（上限5kW）、事業者；1kW当り5万円（上限100kW）

【対象】自家消費型の設備

- ・蓄電池（予算額；1,428万円）

【補助額】市民；設置費用の1/3

【対象】1kWh当り15.5万円以下の設備

- ・EV自動車（予算額；575万円）

【補助額】市民；経済産業省補助金の1/2

事業者；1社当り10万円

【対象】国内メーカーに限る。外部給電が可能な車両再エネ設備と接続して充電を行うこと。市と災害協定を締結



自宅の太陽光パネル



自宅の蓄電池設備

□市有財産整備事業；3,215万円

- ・公用車の購入及び充電設備の設置を行う。
- ・EV車（6台）、PHEV車（1台）を購入、充電設備整備工事（4基）他

□常備消防運営事業；435万円

- ・公用車の購入及び充電設備の設置を行う。
- ・PHEV車（1台）、充電設備整備工事（1基）他

□公共施設等整備基金積立金；5億円

- ・公共施設の老朽化に伴う整備・更新等のため、公共施設等整備基金へ積立を行う。
- ・補正後積立額；11億7,879万円

□教育振興新型コロナウイルス対策関連事業；1,474万円

- ・新型コロナウイルス対策（換気等）のため、小・中学校にアルコールやハンドソープ、空気清浄機などを設置

□耶馬溪体育施設管理事業（福岡・大分DC関連）；92万円

- ・令和6年春開催の福岡・大分デスティネーションキャンペーン（DC）に向けた観光施設整備の一環として、耶馬溪アクアパークにバナナボート2艇を整備する。



アクアパークのバナナボート

《専決処分（5月8日）》

□子育て世帯生活支援特別給付金事業；1億4,593万円

- ・食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対して、特別給付金をプッシュ型で給付する。
- ・給付額；児童1人当たり一律5万円　　・支給対象者；児童数 2,896人
- ①令和5年3月分の児童扶養手当の受給者等（低所得のひとり親世帯）5/22振込済み
- ② ①以外の住民税均等割が非課税の子育て世帯（その他低所得の子育て世帯）

2. 条例の制定・改正（抜粋）

□中津市脱炭素社会推進基金条例の制定について

- ・脱炭素社会の実現を推進する事業を円滑かつ効率的に実施するための財源となる基金を設置するための条例を制定する。（今回の補正予算で3億円を積立て）

3. 財産の取得

- ・消防団消防ポンプ自動車の取得について議決を求めるもの
- ・和田校区、今津校区の消防団に各1台

4. 工事請負契約の締結について

- ・契約の目的；耶馬溪公民館建築工事
- ・契約の金額；2億6,400万円
- ・工事の概要；木造平屋建て、延床面積837.83㎡
- ・契約の相手方；高野・梶原建設工事共同企業体
- ・工事期間；令和5年度から6年度



耶馬溪公民館の整備イメージ

5. 請願

- ・第1号 中津市内公立小中学校へ届けるテーブルフラワープロジェクトに関する請願書【一部採択】

※請願趣旨・要旨のうち、予算措置を求め小中学校に限定して実施する「テーブルフラワープロジェクト」に係る部分を除き、「花き振興に関する法律第16条（花きの文化の振興）」に基づく花きの活用に努めるべきとする趣旨について採択する。

- ・第2号 小・中学校給食費の無償化を求める請願書【継続審査】
- ・第3号 学校給食費の無償化と18歳までの医療費無料化を求める請願書【継続審査】
- ※2・3号は、国における少子化対策の議論を注視し、継続して審査を行う。
- ・第4号 国民年金（低年金）でも入れる介護施設、高齢者施設を増やすように求める請願書【不採択】

6. 意見書（すべて採択）

- ・第3号 地方財政の充実・強化に関する意見書
- ・第4号 ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書
- ・第5号 2023年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書

- ・第6号 学校給食費の無償化を求める意見書
- ・第7号 「次元の異なる少子化対策」の実現に向けた意見書

※意見書第3号～6号は私たちの会派から、7号は教育厚生委員会から提案しました。

6月議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

1. 人口減少に立ち向かう
 - ①中津市の将来推計人口と人口減少が与える影響
 - ②人口の1%取り戻し戦略
2. 待ったなしの少子化対策の推進
 - ①合計特殊出生率と出生数、女性人口の推移と今後の見込み
 - ②出生数が減少している要因と回復に向けた取り組み
 - ③子育てしやすい環境づくり



1. 人口減少に立ち向かう（抜粋）

〔情勢〕国勢調査による中津市の人口は、2005年の84,368人に対して2020年は82,863人と微減傾向ですが、旧下毛地域の人口は2005年の17,334人に対して2020年は12,812人と激減しています。この間、居住外国人は約700人増加しています。

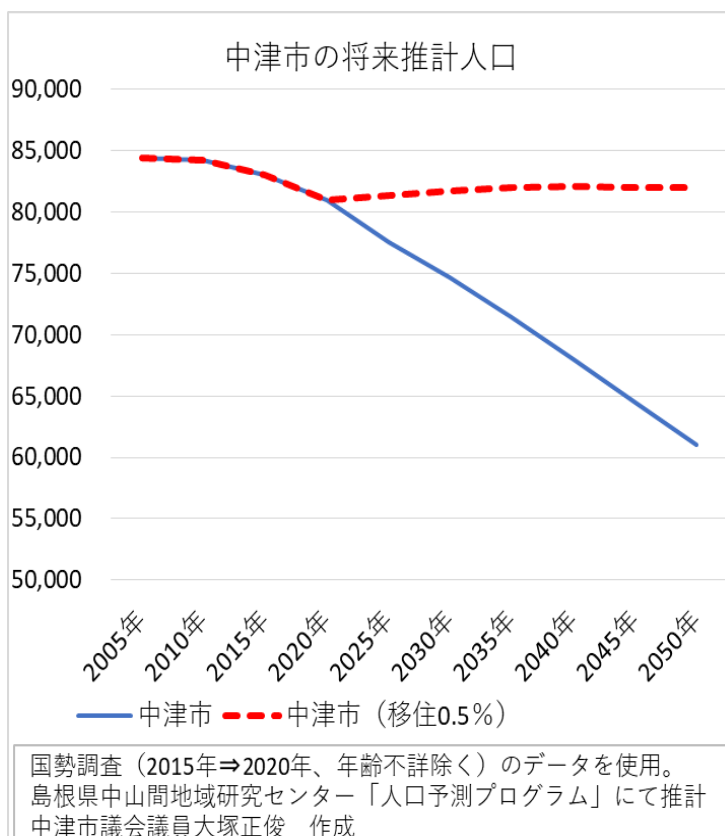
「人口予測プログラム」を使用して将来人口を推計した結果、2050年の中津市の人口は61,016人、旧下毛地域の人口は5,930人に激減します。

（1）人口の1%取り戻し戦略

＜質問＞人口減少対策は待ったなしです。そこで、移住・定住者の目標数はどのように設定されているのか伺います。

【答弁】第5次中津市総合計画において、

「中津市の移住支援制度を利用した市外からの移住者数」は、10年計画の最終年度(R8年度)における市内全域の移住者累計の目標値を350人(年間35人)と設定しています。



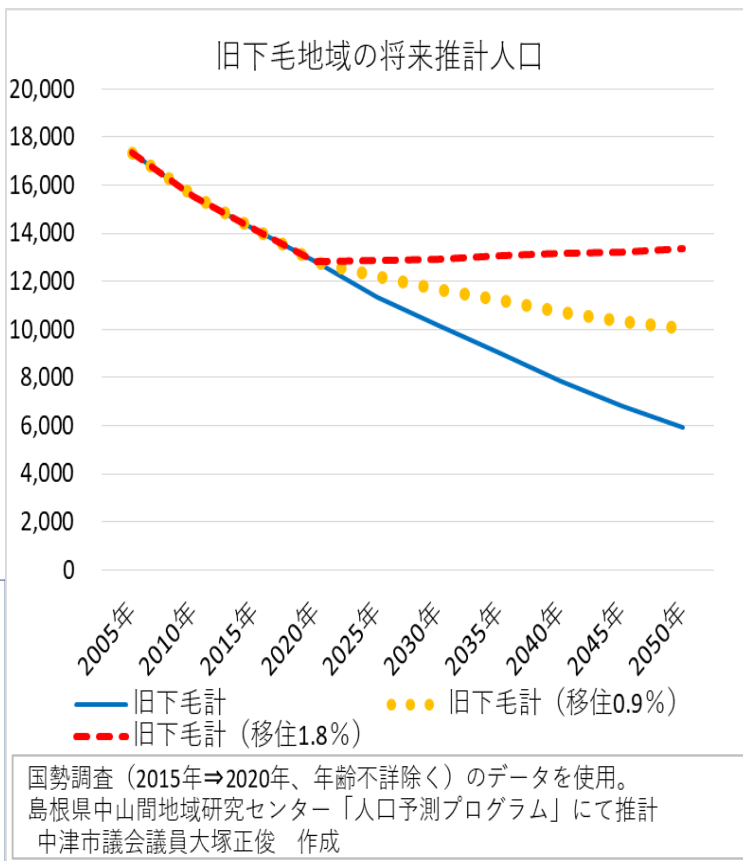
＜質問＞市全域では、2020年人口の0.5%（435人）を毎年移住定住で取り戻せば、2050年には81,999人に回復します。旧下毛地域では、2020年人口の0.9%（120人）を取り戻せば2050年には10,057人、1.8%（235人）を取り戻せば13,356人に回復します。

そこで、地域の人口減少の現状や移住により人口維持は可能であることを一緒に考える集落説明会を実施すべきと考えます。さらに、各支所単位に移住の目標人数を設定して移住定住を促進し、人口減少に歯止めをかける必要があると考えますが如何ですか。

【答弁】令和4年度、地域住民が主体となって新たに「移住支援なかつ」が組織され、移住希望者と地域住民の双方が安心して暮らせる地域づくりに取り組むことをスローガンに掲げて、活動を展開しています。

今後、全国的に人口減少が進む状況下にあつて、本市における移住・定住を促進するためには、それぞれの地域が持つ強みを最大限に活かし、それらを併せもつて地域全体で取り組むことが必要だと考えています。

＜質問＞市では令和5年度より、中山間地域の活性化を図るために「中山間地域活性化支援事業補助金」を創設しました。集落の移住・定住者の招致に向けた取り組みも補助対象とすべきと考えますが如何ですか。

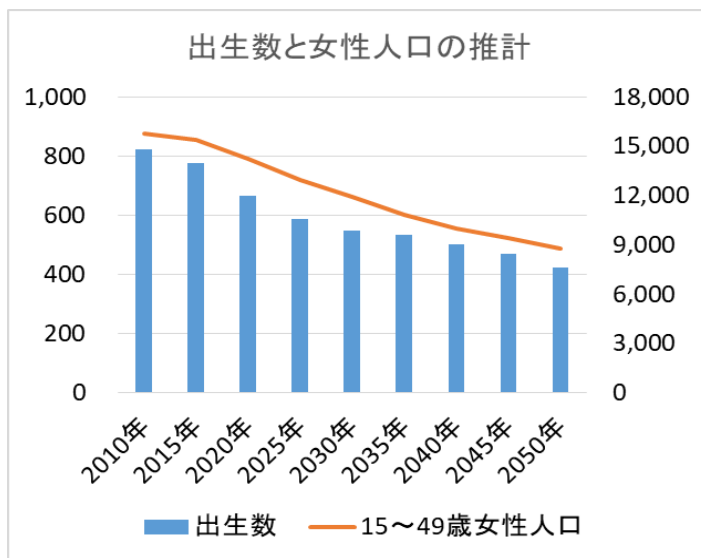


【答弁】今年度から開始した「中山間地域活性化支援事業補助金」は、地域住民の方々が主体となり、交流・関係人口の創出、地域活性化に取り組む事業を支援するものであり、過疎地域の移住・定住につながるイベントや事業などの取り組みも補助対象として支援します。

2. 待ったなしの少子化対策の推進（抜粋）

〔情勢〕中津市の出生数は、2010年の823人に対して2020年には666人、15歳から49歳の女性人口は15,739人に対して14,216人と激減しています。「人口予測プログラム」を使用して推計した結果、2050年には出生数は425人、15歳から49歳の女性人口は8,752人まで激減します。

2022年の出生数は568人となり、上記の推計より少子化が加速しています。これは、中津市の将来にとっては危機的な状況です。



（1）出生数が減少している要因と回復に向けた取り組み

＜質問＞出生数の激減の要因である女性人口（24歳から34歳）を増やしていく施策が必要です。中津ではまだまだ女性の働く場が少ないのが現状です。そこで、女性の雇用の場としての企業誘致、北九州市への通勤者支援制度（通勤定期券の一部補助など）が必要と考えますが如何ですか。

【答弁】市では、令和3年度の企業立地助成金の見直しの際に、女性が働きやすい職場づくりのための整備費や女性を雇用した場合に加算するなど助成金メニューを拡充し、女性の雇用の場の創

出に努めています。今後も、大分県とも連携して自動車、半導体などの集積産業を始め食品製造業やIT関連企業など幅広く誘致活動を行い、女性の活躍できる職場の誘致に取り組みます。

また、市外への通勤者に対する通勤費支援については、移住定住施策や子育て支援策の一層の強化など生活課題に応じた施策をきめ細かにいき、まずは市内企業の人材確保を第一に考えて取り組んでいきたいと考えています。

＜質問＞最近、若者の結婚に対する意識が変化してきています。

そこで、新たな晩婚化、未婚化の対策として、婚活サポーターの養成や企業の結婚支援、若者に対するコミュニケーションスキルアップ講座、ライフデザイン講座、それらの事業やお見合いのフォローなどを行う結婚相談所（マリッジサポートセンター）、婚活支援課の設置をしてはどうかと考えますが如何ですか。



【答弁】市では晩婚化、未婚化の対策として、民間団体との婚活パーティーの共催、共催した婚活パーティーの参加者同士が結婚した際の結婚祝い金の贈呈、市が共催する婚活イベント等を個人や企業向けにお知らせするメール会員の登録制度、婚姻後に旧下毛地域に在住する方への結婚新生活補助金を行っています。

さらに、今年度から、大分県が実施しているオンライン婚活サービスである「OITAえんむす部出会いサポートセンター」の入会・更新費用の助成を開始しました。

今後も引き続き、結婚願望のある若者の婚活支援のニーズを的確に把握しながら、出会いの場作り及び結婚支援に関わる施策を創意工夫して取り組んでいきます。



（2）子育てしやすい環境づくり

＜質問＞3歳未満児（第1子）の保育料と保育給食費の無償化について、地方交付税の不交付団体やふるさと納税など潤沢な財源をもつ自治体ではすでに実施されています。

最初に、中津市における令和5年4月1日現在の対象者数と無償化に必要な財源について伺います。

【答弁】3歳未満児（第1子）の保育料と保育給食費を無償化した場合に必要な財源については、保育料の徴収対象者は319人で年額約1億2,200万円、副食費の徴収対象者は1,240人で年額約6,993万円、合わせて年間で約1億9,200万円の財源が必要となる見込みです。

＜質問＞本来、自治体サービスは全国一律で実施されるべきで、それを補完するため地方交付税制度があるわけです。約2億円もの経費を市の一般財源で負担することは困難です。そこで、市として3歳未満児（第1子）の保育料と保育給食費の無償化を国へ要望すべきと考えますが如何ですか。



【答弁】令和元年10月から実施された幼児教育・保育の無償化と同様に、国の少子化対策の一環として実施されることが望ましいと考えますので、他自治体とも連携のうえ、県の市長会等を通じて、国に要望していきたいと考えています。

活動日誌 主な活動の一部をご紹介します。

月日	曜日	活 動 内 容
4月2日	(日)	新大塚町子ども神輿祭り、大塚町春祭り
4月4日	(火)	市議会広報広聴委員会
4月8日	(土)	北部校区なぎさサロン役員会
4月9日	(日)	農家民泊みどりさん家種まき
4月10日	(月)	小学校登校班交通指導(14日まで)
4月13日	(木)	明蓮寺総代会
4月15日	(土)	北部校区なぎさサロン
4月16日	(日)	中津市議会議員選挙出陣式
4月22日	(土)	中津市議会議員選挙絆納め式
4月23日	(日)	中津市議会議員選挙投開票、新大塚町内一斉水路清掃活動
4月24日	(月)	建築士会中津支部役員会
4月25日	(火)	当選証書授与式、2023春季生活闘争に関する要請書提出
4月27日	(木)	明蓮寺仏教壮年会役員会
4月30日	(日)	新大塚農業用水路清掃活動
5月1日	(月)	市議会議長・副議長退任式
5月3日	(水)	なかはく企画展「ナガシノキオク～中津藩士のルーツは長篠にあり～」
5月6日	(土)	平成会5月例会
5月9日	(火)	市議会会派会長会
5月10日	(水)	明蓮寺仏教壮年会総会
5月12日	(金)	農家民泊みどりさん家田植え(13日まで)
5月14日	(日)	蛸瀬川清掃活動
5月15日	(月)	中津市議会臨時議会、会派打合せ
5月16日	(火)	山国町猿飛千壱峡現地調査
5月17日	(水)	自治労県本部自治体議員連合会議
5月18日	(木)	北部校区防災士協議会役員会、日本酒をつくる会総会
5月19日	(金)	自治労自治体議員連合学習会(Web会議)
5月20日	(土)	北部校区なぎさサロン、新大塚町内運動会準備
5月21日	(日)	新大塚町内運動会
5月23日	(火)	北部公民館運営委員会、北部校区地域福祉ネットワーク協議会
5月26日	(金)	建築士会中津支部総会
5月29日	(月)	6月議会一般質問通告書提出、会派打合せ
5月31日	(水)	中津市自治研究センター理事会
6月2日	(金)	6月議会一般質問の執行部との打合せ
6月5日	(月)	6月議会招集、議案発送、県政市政対策会議、会派打合せ
6月6日	(火)	NPO法人なかつ耶馬溪活き域きネット総会
6月8日	(木)	連合北部地協議員懇談会
6月9日	(金)	6月議会議会運営委員会、会長会
6月12日	(月)	6月議会開会、議会運営委員会、会派打合せ
6月16日	(金)	6月議会一般質問(1日目)、会派打合せ
6月17日	(土)	北部校区なぎさサロン
6月18日	(日)	耶馬溪につぼん酒をつくる会田植え
6月19日	(月)	6月議会一般質問登壇(2日目)
6月20日	(火)	6月議会一般質問(3日目)、会派会長会、産業建設消防委員会
6月21日	(水)	6月議会一般質問(4日目)、議会運営委員会
6月25日	(日)	新大塚町皆作祭り
6月26日	(月)	6月議会議案質疑登壇
6月27日	(火)	6月議会総務企画環境委員会、北部校区防災士協議会総会&研修会
6月28日	(水)	6月議会産業建設消防委員会
6月29日	(木)	6月議会教育厚生委員会、北部校区青少年健全育成協議会総会
7月1日	(土)	中津南高同窓会総会&懇親会
7月3日	(月)	6月議会自由討議、議会運営委員会、会派会長会
7月5日	(水)	6月議会最終日、議会運営委員会、市役所退職者会総会

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohtsuka.com/> 又は大塚正俊のTwitterで検索して下さい。



なぎさサロン市政報告



農業用水路清掃活動



みどりさん家田植え体験



蛸瀬川清掃活動



新大塚町内運動会



につぼん酒を作る会田植え



編集後記(ひとりごと) 副議長の任が終わったので、1年ぶりに一般質問と議案質疑をさせていただきます。質問・質疑に必要な資料の作成や論点整理、原稿作成などで苦労しましたが、議場では議員冥利に尽きる至福のひと時を過ごすことができました。(まさとし)